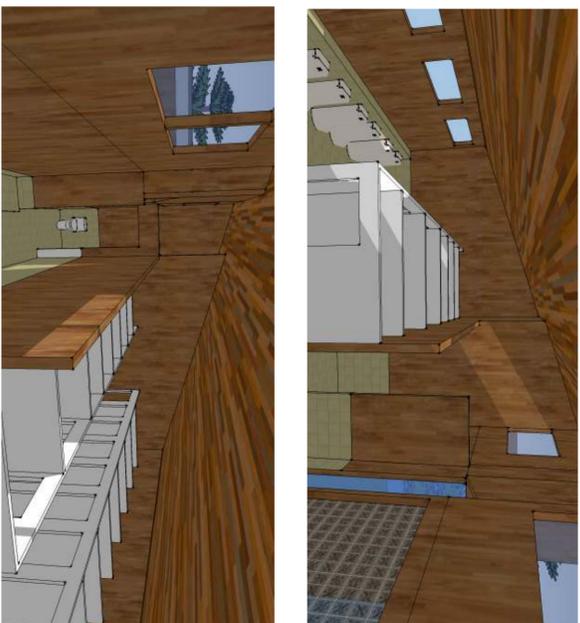


↓ 外観図

男子トイレ↑



↑ 女子トイレ



↑ 鳥観図

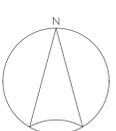
自然を観るトイレ

から道を聞かれるように、相手から調べてもらう。
 囲まれた中に一本の木がある。曲がる嫌でも目につく。付き添いの待ち時間でもいい、話の種になればいい。今までの道程でいくらでも見てきたのだから。
 ここで改めて、背景ではなく個としての、木を見るのではなく観てもらおう、のだ。
 次に運転するとき、自然から今まで見られなかった、多くのそれを見つけてくれる人がいるかもしれない。ただ、声を張るのではなく、そのふとした発見がより深く人の心に根をはるのだ。

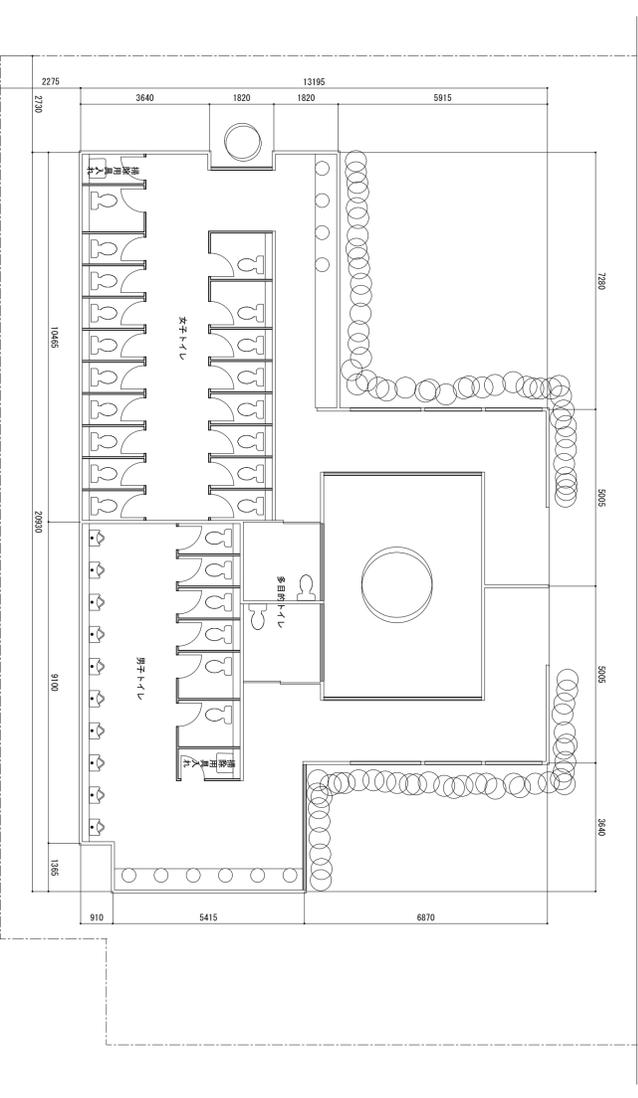
「自然」というと、森、山など、主に雄大で人は抗い難い規模のものを浮かべる。だが、そのイメージに具体的な説明を求めると、途端に言葉を詰まらせる、直ぐに知っている木々を適当にイメージにあてはめ答えを返す。「自然」という語は全体の印象が強くて個が薄いからだ。勿論、有名な木々はいくらでもある。しかし、山として、背景として見ているだけでは、大凡の人々は、大凡の木々に興味すら湧かない。分類する段階を越えられないのだ。すぐそこを歩く他人が用もなく話しかけて来ないように、脇の街路樹をいちいち調べてくれたりはいらない。

では、どうするか、相手に疑問を持たせるのだ。通行人から道を聞かれるように、相手から調べてもらう。

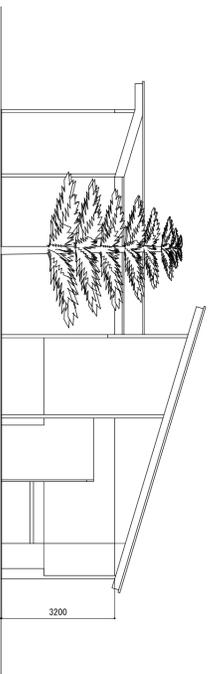
設計趣旨



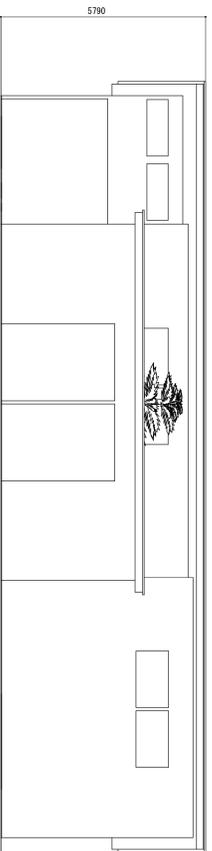
配置図兼平面図



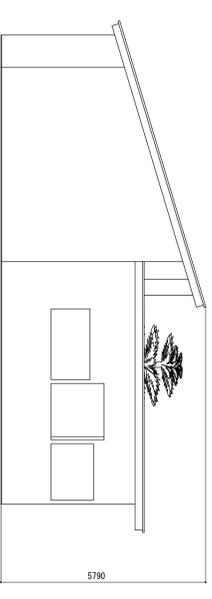
↑ 断面パース



断面図 1/100



東側立面図 1/100



南側立面図 1/100